

2022年2月17日  
イオン琉球株式会社

## 2030年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ 店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更

2022年4月より順次切り替えていきます


イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：大野恵司 以下、当社）は2022年4月から順次、「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」「イオンドラッグ」全57店舗でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に変更します。

当社は、CO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に寄与すべく、2025年までに2018年比で35%減らす目標を掲げています。

こうした中2020年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、レジにてお申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることにより使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、4月1日より順次、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材のカトラリーに切り替えます。

当社は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的取り組みでまいります。

	<切り替え前> プラスチック製	<切り替え後>※2 木製・紙製
カトラリー (プラスチック製)		

※1：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

※2：各カトラリーの取り扱いは各店舗で異なります。

## 【ご参考】

### 「イオン プラスチック利用方針」（2020年9月策定）

イオンは、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組みます。店舗・商品・サービスを通じて、全てのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素型かつ資源循環型の新たなライフスタイルの定着を進めて参ります。

1. 事業活動における資源の無駄使いや使い捨て型の利用を見直し、使い捨てプラスチックゼロを目指します。
2. 必要なプラスチックは化石由来から環境・社会へ配慮した素材へ転換します。
3. 店舗を拠点に使用済プラスチックの回収・再利用・再生する資源循環モデルを構築し、お客さまとともに持続可能な資源利用に取り組みます。

〈目標〉CO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指し、

- ・2030年までに、使い捨てプラスチック使用量を2018年比で半減します。
- ・2030年までに、全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用します。
- ・2030年までに、PB商品のPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換します。

### ◎マイバッグの取り組み

当社では、2008年10月よりお客さまのご理解、ご協力のもと、レジ袋の原料である石油資源の節約やCO<sub>2</sub>排出量の削減といった環境への配慮から「買物袋持参運動」を推進し、イオン・マックスバリュおよびザ・ビッグの食品売場で扱うレジ袋の無料配布を中止いたしました。2020年4月1日からは、食料品以外の衣料品・くらしの品を含む直営全売場でのプラスチック製、紙製を含むすべてのレジ袋の無料配布も終了しました。多くのお客さまのご理解とご協力の結果、当社のレジ袋辞退率は約80%※<sup>3</sup>に高まっています。



リサイクル原料を使った買い物袋  
(リサイクル原料を80%使用)



リサイクル原料を使ったマイバッグ  
(リサイクル原料を50%使用)



リサイクル原料を使った保冷バッグ  
(リサイクル原料を30%使用)

### ◎ラベルレス飲料

2021年4月より、トップバリュベストプライスの天然水500ml・2000mlと茶飲料（緑茶、烏龍茶、麦茶）525mlの計5品目（いずれもケース販売）において、ラベルを省いた商品を発売。プラスチックごみが減ることによる環境負荷の削減や、捨てる時にラベルを剥がす手間が省け、毎日のごみ分別の負担軽減にもつながる商品です。



「トップバリュベストプライス ラベルレス天然水」（1箱：2000ml×6本入り）

### ◎環境配慮商品

環境への負荷をできるだけ低減するため、計画的に植樹・伐採した原料の使用や、竹パルプを使用した商品、配送効率を上げる取り組みにつながる商品の開発を進めています。



計画的に植樹、伐採した原料を使用した「割箸」各種。包装フィルムにはバイオマス原料を10%使用



無漂白の竹パルプを40%配合した「キッチンタオル・ハンドペーパー」




コンパクトで配送効率がよく、CO<sub>2</sub>排出につながる配送頻度を減らせる「ふんわりやさらか1.5倍巻トイレトペーパー」

### ◎環境配慮容器包装

使い捨てプラスチック削減のため、原料の一部に植物由来の原料が使用されているバイオマスプラスチック容器への切り替えや、トレーを省いた商品、また代替素材として紙を使用するなど、環境に配慮した容器・包装の使用を進めています。

2020年9月には、お客さまに環境に配慮した容器包装商品を選んでいただきやすくするため、トップバリュ基準を満たした容器包装に表示する「トップバリュ環境配慮資材マーク」を制定。対象商品への付与を進めています。



トップバリュ環境配慮資材マーク  
プラスチック削減やプラスチックの代わりにリサイクル素材、バイオマス素材、紙など、環境に配慮された包装資材を使用したトップバリュ商品に付与するマークです。



プラスチックの代替としてパッケージにクラフト紙を採用し、計量スプーンも省いた「掃除用品」各種

※3：2020年度のレジ袋無料配布中止を実施した店舗の辞退率です。直営売場全体の辞退率79.1%となります。